



れんげそう

令和8年7月17日
福生第五小学校
学校通信第589号

充実した夏休みを！

校長 鈴木 輝

早いもので、一学期も終わりを迎えました。子どもたちは日々の学習や学校生活を通して大きく成長し、特に運動会では、一人一人が目標に向かって努力し、仲間と協力しながら最後まで頑張る姿を見せてくれました。競技や演技、係活動など、自信をつけることができた一学期だったと思います。

さて、いよいよ夏休みが始まります。長い休みの間は、家族の一員として自分にできるお手伝いや役割を進んで引き受けてほしいと思います。毎日の生活の中で責任を果たすことは、大きな成長につながります。

夏休みは、読書や自由研究、地域の行事への参加など、自分なりの目標をもって過ごし、長い休みだからこそできる経験をたくさん積んでほしいと思います。

二学期の始業式には、子どもたちが元気な笑顔で登校し、夏休みに体験したことや頑張ったこと、楽しかった思い出を話してくれることを楽しみにしています。

ご家庭や地域の皆様には、一学期間、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。どうぞ安全で充実した夏休みをお過ごしください。

「できた！」を増やす夏休み

生活指導主任 加藤 拓

夏休みは、家族や地域の一員として、人権尊重の精神や規範意識を育むとともに、「自律心」を養う絶好の機会です。

1. 小さな成功体験が「自律」への第一歩 ～「具体的な行動目標」を～
 - ・規則正しい生活習慣：自分で決めたりズムで過ごせるよう励ましを。
 - ・自己肯定感を育む：決めたことを守れたとき言葉にして伝えてください。
2. 笑顔を守るためのお守り「わが家の約束」
 - 命や友だちとの絆を守るため、お子さんと話し合ってみましょう。
 - ・命を守る安全確認：ヘルメット着用、多摩川での遊泳禁止など。
 - ・ネット・SNSの使用：利用時間やマナーについて
 - ・お金のトラブル：おごる等のお金の貸し借りはトラブルに発展します。
3. 一人で抱え込まず「SOS」を出す勇気を

もし不安や悩み、困ったことがあったときは、一人で抱え込まずに「家族や先生、信頼できる大人に相談することの大切さ」を繰り返し伝えていきます。お子様の表情や生活リズムの小さな変化に寄り添い、いつでも相談できる温かい雰囲気づくりをお願いします。